

古瀬俱之ガバナー公式訪問報告書

9月12日(木)古瀬俱之ガバナーならびに随行者の北脇樹二副代表幹事をお招きして「古瀬俱之ガバナー公式訪問」が開催されました。まず、11:00より会長幹事懇談会が開催されました。古瀬ガバナー、北脇副代表幹事ならびに当クラブより田原会長をはじめとし副会長、幹事、副幹事が参加し、参加者全員穏やかな口調ながらも真剣な表情で真剣に話し合いとても有意義な懇談会となりました。まずは田原会長より今年度のクラブ活動方針等を説明し、その後古瀬ガバナーより活動方針、事業計画についての感想やこれまでの長い経験による多くの助言を頂くことが出来ました。入会年数の浅い私にとってはとても貴重な時間となりました。

引き続き12:30よりクラブ例会が開催され、「黄金の鐘」による点鐘から「君が代斉唱」「ロータリーソング斉唱」と厳かな雰囲気の中プログラムは進んで行きました。ガバナー卓話では、古瀬ガバナーがパワーポイントを使われながら解りやすく、ときにはユーモアを交えながら様々なこととお話しされました。まず、マーク・ダニエル・マローニーRI会長の「ロータリーは世界をつなぐ」について解説やロゴマークの説明をして頂きました。その後、2019-20年度の地区目標、最重点目標ならびに重点目標について、強く会員に訴えかけられました。その後目標達成計画について、現大リーガーの大谷翔平選手の場合を例に出しながらとても解りやすく説明頂きました。その後、わかりにくいクラブ奉仕や職業奉仕等の解説、ポリオ根絶活動の現況や世界大会のお話しなど多岐にわたるお話を頂きました。私が一番感じたのは「ロータリーとは奉仕の志を持った人が集まる所です」との言葉です。自分自身を振り返った時、それに相応しい人間であるのか大きな疑問が残りますが、少しでも奉仕の志を持てる人間になれるよう、ロータリーを通じて人間を磨いて行きたいと感じました。貴重な卓話、本当にありがとうございました。

大田ロータリークラブ 幹事 恒松 勝